

■「防府市視聴覚ライブラリーの事業内容とその成果」

～「あるといいな」の発想から生まれるサービス～

■はじめに

本ライブラリーは15年前に防府市青少年科学館（ソラール）のオープンに合わせ、防府市立図書館から分離して、新設の防府市青少年科学館（ソラール）内に併設された。

視聴覚機材や教材の活用を図り、学校教育や社会教育における学習効果を高めることを目的としている。本ライブラリーのスタッフ3名は実質全員ソラールとの兼務である。視聴覚ライブラリーの運営などについて、この2年間を中心に報告する。

■事業内容

1. 視聴覚機材や教材の計画的な充足

学校や公民館などに貸し出される機材や教材を毎年購入しているが、ニーズのある地域教材をカタログから一般購入することは難しい。そこで、地域教材は3年前から少しずつ外部に制作依頼して7本になった。

特に平成25年度はソラールの15周年記念の一環として、地域の発明家で「柏木体温計」や「柏木ジアスターゼ」などの発明・普及に大きく功績を残した人物を顕彰して「柏木幸助

～偉大な防府のエジソン～」のDVD制作を民間映像制作会社に依頼した。

市内小中学校をはじめとした教育機関に進呈し、市内の小中学生および市民に柏木幸助の功績を伝えた。また、作品はホームページでも閲覧できるようにした。

これからも着実に地域教材の充実を図っていきたい。なお、これらの地域教材のうち次の2本は、日本視聴覚教育協会主催の全国自作視聴覚教材コンクールで入選した。

- ・平成25年度「三田尻塩田の歴史を探る」中学校部門で入選
- ・平成24年度「追想 防石鉄道」社会教育部門で入選

2. 視聴覚機材や教材の貸出管理

教材目録を市内の小中学校や公民館に配布しているのに加えて、2年前からホームページにも目録を公開した。そして、キーワードの入力で教材の題名や内容を誰でもどこでも検索できる仕組みにした。

ちなみに、この2年間の貸出件数は、機材では349件から463件に、教材は469件から651件に増えた。これからも、ニーズに合った教材や、使いやすいネット環境を目指していきたい。

また、市内小学校教育研究会の視聴覚教育研修部の先生方が選定した教材（約20本）を、市内小学校17校を1年かけて巡回させる「巡回ビデオ」の仕組みも継続して行われている。



地域教材コーナー

3. 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映

科学教育普及のため、ソラールへの来館者に企画展や月ごとに選定した10～20分程度の作品を、土日祝日は4回、平日は2回上映している。平成23、24年度を比較すると年間のべ上映回数が381回から405回と増えたのに伴い、視聴者は1414人から2187人に増えた。これからもいい作品を上映したいと考えている。

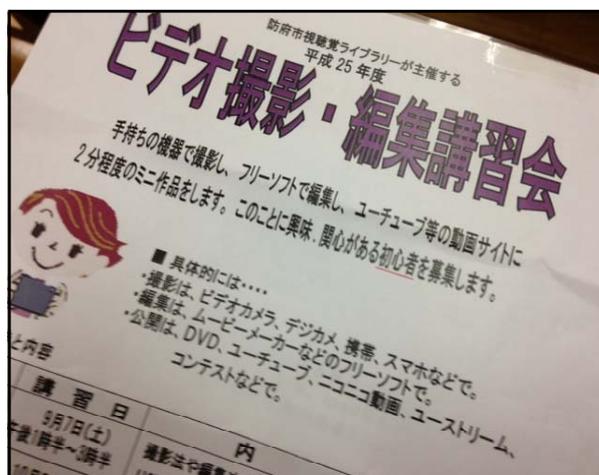
平成25年度は8～9月に全国的に展開されている「国際科学映像祭」に参加科学館として関わった。国際科学映像祭は趣旨の一つに「良質な科学映像コンテンツを広く国内外に紹介し、多くの人々に見ていただく機会の提供」を掲げていて、本ライブラリーの活性化の要素にもなるのではないかと模索中である。

4. ビデオ撮影編集講習会の開催

平成24年度から講習内容を時代に合わせて次のように変更した。ビデオカメラに限らず、デジカメ、スマホなど身近な撮影機材を利用して、パソコンでの編集も無料のフリー編集ソフト「Windows Liveムービーメーカー」を使った。参加者は2～3分の作品を作って、できればユーチューブにアップしたり、映像コンテストなどに出品することを目標にした。講習会は9、10、11月実施の年3回シリーズで、初心者のための講習会とした。講師3人は地域の「映像サークル」などに所属の人たちに依頼した。

新しい試みとして、講師3人の承諾を得て、講習会の動画をユーチューブにアップしてホームページから視聴可能にした。参加者の復習用に活用したり、欠席者や興味のある方の視聴が可能となった。ライブラリーの貴重な映像教材とも言える。

年3回の参加延べ人数は、平成24年度は57人、平成25年度は28人。1教室の募集定員は20人としたが10人くらいの定員にした方が個別対応もできて適切であろうと考えている。



講習会チラシ



ビデオ講習会

5. 本ライブラリーのホームページの充実

予算的に厳しい中、この2年間でのネット関係の充実は「グーグル」の無料サービスなどを利用して構築してきた。

ライブラリーのホームページは「グーグルサイト」や「ブログ」を、動画は「ユーチューブ」を、ビデオ講習の指導者との打ち合わせは「グーグルグループ」のメーリングリス

トを、チラシ以外の広報活動は「フェイスブック」や「ツイッター」を利用した。

ホームページを工夫することで、下記のような改善ができたと考えている。

- ・視聴覚教材目録のアップにより、誰でもどこでも教材の検索やキーワードによる絞り込みが可能となった。
- ・自主制作の地域教材7本が、DVDの貸出と同時にホームページで視聴可能になった。市内外からの視聴回数や視聴コメントは手応えを感じる糸口となっている。
- ・過去2年間分、計6回のビデオ講習会がホームページで視聴可能になった。

■おわりに

ライブラリーの運営については手探り状態ではあるが、機材や教材の計画的や充足や日常の貸出業務をきちんとしながら、利用者の立場になって、「あるといいな」の発想に立ったサービスを、できることから少しずつ進めていくつもりである。

■【ホームページアドレス】

- ・防府市視聴覚ライブラリー

<https://sites.google.com/site/hofusolar/>

- ・防府市青少年科学館ソラール

<http://www6.ocn.ne.jp/~solar/>

山口新聞	
2013年(平成25年)9月5日 木曜日	
<p>本年度の全国自作視聴覚教材コンクール(日本視聴覚教育協会主催)で、防府市視聴覚ライブラリーが制作した映像作品「三田尻塩田の歴史を探る」が中学校部門で入選した。同ライブラリーとして、昨年度の社会教育部門での入選に続いて2年連続の受賞。</p> <p>同コンクールは教職員や教育機関、社会教育関係団体などが自作したビデオやコンピューターなどによる視聴覚教材を対象。教材的利用価値に審査の重点が置かれている。本年度は小学校、中学校、高校、社会教</p>	<p>育の4部門に計106作品が寄せられた。このうち中学校部門には13作品の応募があり、最優秀の文部科学大臣賞、優秀賞、入選に1作品ずつ選ばれた。20日に東京で表彰式が開かれる。</p> <p>同ライブラリーの受賞作品は、江戸時代から昭和初期にかけて防府市沿岸部で盛んに行われた塩業や三田尻塩田の歴史を紹介する内容で、地域教材ビデオとして約23分の映像(ナレーション付き)にまとめた。資料に基づく解説に加え、入浜式塩田での昔ながらの塩づくり作業の実演なども収録した。</p> <p>撮影・編集は主に同ライブラリー運営委員の大野進二さん(山口市阿東在住)が手掛けた。大野さん個人で出品した「トラコはあぢゃんの長寿の秘訣」も社会教育部門で入賞した。</p> <p>同ライブラリーは本年度の受賞作品や、昨年度の受賞作品「追想 防石鉄道」など地域教材ビデオ6作品を、学校や公民館などへ貸し出す取り組みを行っている。作品をホームページからも視聴できる。</p> <p>入賞を受け、同ライブラリーの寺田勉館長は「全国から集まった作品の中から2年連続で良い評価をいただいた」と喜び、「地域教材ビデオは着々と数が増えている。地元の人たちに利用してもらえれば」と話した。</p>

「三田尻塩田の歴史」入賞

防府市視聴覚ライブラリー 全国自作教材2年連続

手持ちの機器で撮影した作品を上映

ビデオ撮影・編集講習会

防府市視聴覚ライブラリーの主催する「平成25年度ビデオ撮影・編集講習会」の第3回が9日、防府市青少年科学館ソラールで開かれた。9月

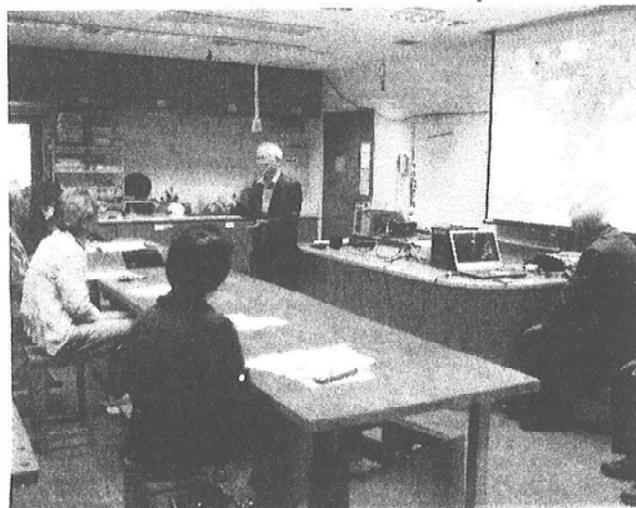
(第1回)と10月(第2回)には撮影や編集の基礎、作業の実際や作品評価の観点について行われ

されているもので、11人らが、撮影のなかで様々な人が参加した。

この日は参加者が家族の様子を撮影したものや、科学実験映像など参加者が工夫を凝らしたものが上映され、それぞれ

が良かった点などを述べた。また、上映終了後はカメラの種類ごとの機能や、講師による映像

石川さんは、地元の伝統行事や取り組みを撮影したものを紹介しながら



ソラールでビデオ作品の上映と講評が行われた